

令和6年度第1回安芸地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：令和6年10月22日（火）14:00～15:45

場所：安芸総合庁舎 2階 大会議室（安芸市矢ノ丸1-4-36）

出席：委員24名中、21名が出席（代理出席3名含む）

議事：

- （1）産業振興計画関連 年間スケジュールについて
- （2）安芸地域アクションプランについて
 - 1）第4期安芸地域アクションプランの取り組みの総括について
 - 2）第5期安芸地域アクションプランの進捗状況等について
 - 3）修正について
- （3）「共働き・共育て」の県民運動の推進について
- （4）産業成長戦略について
 - 観光振興の取り組みについて

議事（1）～（4）について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）
議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

- （1）産業振興計画関連 年間スケジュールについて
意見交換等、特になし。

（2）安芸地域アクションプランについて

- 1）第4期安芸地域アクションプランの取り組みの総括について
意見交換等、特になし。

2）第5期安芸地域アクションプランの進捗状況等について

（長崎委員）

コロナ禍を耐え日常生活ができるようになってきた。東部でも目玉になるようなモノが段々出てきており、課題もあるがそれなりに目標を達成している。

9市町村あるが、市町村や地域ごとに分けずに、観光面などについて全体で宿泊や体験プログラムができれば良いと思う。

室戸が加工品やお土産物づくりなどに取り組んでいるが、東洋町もお土産物がないので、挑戦していければと思っている。

（No. 15 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興）

（常石委員）

室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興について、実施主体に追加されるス

カイアンドシー・ムロトは、お土産物づくりにおいて、西山大地の西山金時を原材料にしている。香美市の株式会社スイーツという会社が西山金時のロールケーキを早くから販売しているが、そちらと重複することはないか。

(澤田地域支援企画員（総括）)

開発中のものは和菓子に近く、ロールケーキではない。特産品を両方から売り出していくという視点で協力していきたい。

(富岡委員)

株式会社スイーツが製造・販売しているのはスイートポテトロールで、室戸のお土産物になっていない。スカイアンドシー・ムロトは室戸で販売するのでお土産物になると思っている。

(No. 5 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大)

(富岡委員)

山本かまぼこ店の新工場について、何年か前から準備はできているが資源の高騰によって進んでいない状態だった。その後進展はあったか。

(澤田地域支援企画員（総括）)

先ほど説明したのはペットフードに特化した加工場を作るという話だった。新工場も整備していきたいとお聞きしているが、資材高騰がネックとなっている。状況を見ながら進めていきたい。

(3)「共働き・共育て」の県民運動の推進について

(横山座長)

各団体の男性の育児休業の状況をお聞きしたい。まずは市町村から願います。

(山崎委員)

男性職員は積極的に育児休業を取ろうとしていると思う。職場としては厳しいが、各課が理解を持ってフォローし、希望者は取得しているはず。JA 馬路村など民間の状況は把握していないが、人手不足の中で大変苦慮しているのではないかと感じている。

(池田氏（溝渕委員代理）)

男性職員の取得実績はなかったが、機運が高まってきており取りやすい環境になってきている。

(前田氏（上村委員代理）)

最近若い職員が増えており、これからだと思う。人員が減り、業務が増えており、代替職員が見つからず苦慮している。こういった制度があることを積極的に知らせることにより、取得がこれから増えていくのではないかと思う。

(黒岩委員)

仕事の関係で取得が難しいところもあるが、短期でも育児休業を取るよう促している。

(竹崎委員)

数的にはわからないが、機運が高まっており、取得しやすい環境をつくっていかなくてはならない。短期取得はできると思うが女性の育児休業のように取得するのは厳しい状況にある。

水を差すようだが、代替職員の確保は、人材不足の中で厳しい状況にあるのが現状。

(常石委員)

100%取得している。育児休業を取得している職員の分も仕事をしなくてはならないため、他の職員にしわ寄せがいつている。男性は20日間の取得が限界のようだ。

(横山座長)

比較的取得している。期間は数週間や1年の方もいる。事前に申告があるので会計年度任用職員を募集して代替職員を置く手立てを取っている。短期長期にかかわらず大体の職員が取っていると認識している。

(長崎委員)

男性の育児休業は当たり前になってきており、取得するよう促しているが、取得しない職員もあり、半々だ。期間としては、大体2週間である。機運的に取得しないといけないので、これから促していく。抜けたところの対応はチームで行っており、その中で見えてくるものもあるのではないかと幹部職員で話をしている。育児休業について、東洋町は小さい町であり家にすぐ帰れるため、休業ではなく育児時間休暇が取れたらもっと労働者と父親の両立ができるのではないかなと思う。時間休暇の改善ができればもっと取りやすくなるのではないかなと思う。

(上松氏(植田委員代理))

日頃より周知を行い、昨年度一人、今年度も来月から1人1ヶ月程度取得予定。

(横山座長)

市町村以外ではどうか。

(川島委員)

夫の職場では、職員が1年取得する予定である。ただ、これはそのご夫婦が自分たちで資料を集め、職場に説明して取得に繋がった。すごいことだが、個人がこうしたことをしなくても育児休業の取得が当たり前になってほしい。他県にいたときは育児休業は当たり前だったので、そうなってくれば良いと思う。皆様にも考えていただければと思う。

(横山座長)

今後は当たり前になるように進んでいくと思う。

(井上(一)委員)

新婚がいるので子が生まれた場合は率先して取っていただこうと思っている。育児休業ではないが、子どもが学童には入れない職員がおり、安芸商工会議所では事務所の空いたスペースに子どもの待機場所を設け、宿題ができたり、退社時間まで待っていただける場所を4月につくった。若い世代に残っていただけるよう、子育て応援支援が企業でも事務所でも必要になってくると思った。

(横山座長)

安芸市は学童の待機児童が多いので取り組んでいかななくてはならない。自治体が行う場合、指導員には資格が必要だが不足しているのが現状。

(嶋田委員)

県と国に要望。特定地域づくり事業協同組合は、行政に派遣はできるが補助対象にならない。対象になれば育児休暇を取得している職員の代替になるのではないかなと思う。対象になるよう

に検討していただきたい。

(山中地域産業振興監)

ここではお答えできないが、こういった意見があったことを中山間地域対策課に伝える。

(4) 産業成長戦略について

観光振興の取り組みについて

(常石委員)

9月県議会で連続テレビ小説「あんぱん」に関する道路整備の7千万円弱の補正があった。

7千万円で土佐山田から香北へ行く道に何ができるのか。道路を直すのか。

(観光政策課 中村課長)

道路の補修と聞いている。脇道がなく渋滞が予想されるので、整備を行う。GW等、観光客が増える時期には周遊バスを走らせるなど、渋滞緩和策を考えている。

(常石委員)

連続テレビ小説「あんぱん」が追い風になり、ますます交通量が増えるので、きちんと受入れができるようお願いしたい。

(観光政策課 中村課長)

土木部と調整しながら整備を進めていきたい。

(横山座長)

観光客に迷惑のかからない補修修繕をお願いしたい。

(長崎委員)

来年、連続テレビ小説「あんぱん」を期に物部川エリアなどで観光博覧会など様々なイベントを実施しようとしている。東洋町は東の玄関口としての観光案内をしようとしている。やなせさんと東洋町を何か結びつけられたら良いと思うが、東の玄関口として協力できるので、そういったことを考えていただき、参加していきたいと思う。

(観光政策課 中村課長)

県内をまわるスタンプラリーを予定している。物部川エリアだけでなく、ごめん・なはり線があるので、東部の方にもお客さんを誘導できると考えている。物部東部エリアをカバーする周遊切符や、既存のバスや鉄道を乗り継げる四国の右下周遊切符などもあるので、そういったこともPRしながら前面に打ち出していきたい。

(長崎委員)

東洋町は関西からもお客様がくるので、ここから物部川エリアなどに誘客していきたい。

(観光政策課 中村課長)

万博もあり、関西からの集客の視点を持って取り組んでいきたいのでよろしくをお願いしたい。

(嶋田委員)

東洋町や室戸など、各地のキャラクターをつくっていただけたら、スタンプラリーなど、もっと良いものができるのではないかな。パン屋は、東洋町にもあり、あんぱんを買いに来るよう

な観光アイテムになるのではないかと思いますので、そういったことを考えてもらいたい。

(観光政策課 中村課長)

キャラクターについては、即答できない。パン屋の紹介はしっかり取り組んでいきたい。

(横山座長)

キャラクターは難しいかと思うが、そういったことも念頭に置いて取り組みをお願いしたい。

(井上 (一) 委員)

連続テレビ小説「らんまん」のときにもお話ししたが、らんまんイコール佐川町の先入観で動いていた節がある。みんなで牧野さんプロジェクトとして、安芸駅ちばさん市場でも、牧野さんグッズ販売を行った。県外から来る人は高知に遊びに来ている。東洋町に来たときにあんぱんグッズを買うことに違和感はない。手提げ袋でもちょっとしたシールでもいいので、高知で共通したアイテム・グッズがあれば良いと思う。どこに行っても連続テレビ小説「あんぱん」を感じられるようなものを作ってもらいたい。道の駅等で互いのアイテムの交換のような、安芸で香美市の物を売ったりするなど、お土産品の交流のようなことを行い、どこに行っても高知はやなせさんのところだと感じてもらえるようにしていただきたい。

(西邨委員)

周遊していただくには、いかにごめん・なはり線に乗っていただくかが重要。その仕組みづくりをしっかりしていただきたい。

(観光政策課 中村課長)

お土産は民間の方に主に担ってもらうことになると思うが、消費拡大にもつながるので、意識して取り組んでいきたいと思っている。アンパンマンは権利的に使えないので、やなせたかし先生とやなせたかし先生のキャラクターにスポットを当てて取り組んでいきたい。すでにごめん・なはり線のキャラクターを旅行の雑誌で紹介をした。そのように露出を増やしていきたい。ノベルティを工夫して、やなせキャラのシールをつくるなどしていきたいので、引き続きよろしくお願いしたい。

(横山座長)

やなせ先生の奥さんのお父さんが安芸市出身なので、その辺りもお願いしたい。

(井上 (一) 委員)

防災のキャラクターや安芸ちりめんドンちゃんもいるのでよろしくお願いしたい。

(嶋田委員)

東洋町観光振興協会からおしらせ。閑散期の砂浜を有効活用して、ビーチサッカーが開催されるので、ぜひ見に来てほしい。

(以上)